

はけたよはけたよ

かんざわとしこ 文
にしまきかやこ 絵



偕成社 1970年 1000円

たっくんは、ひとりでパンツがはけません。パンツをはかずに、外にでていったたっくんは、動物たちに、しっぽがない、といって笑われてしまいます。うちへかえったたっくんは、しりもちをついたまま、パンツをはくことに成功します。おかあさんのぬってくれたズボンをはいたたっくんは、動物たちに自慢します。子どもの日常と、おかあさんの愛情が、やさしいクレヨン画で描かれています。

はじめてのおつかい

筒井頼子 作
林明子 絵



福音館書店 1977年 800円

5歳のみいちゃんは、ママから、あかちゃんの牛乳を買ってくるように、おつかいをたのまれます。自転車にどきんとしたり、坂道でころんでお金を落としたり、やっとお店についたみいちゃんは、なかなか大きな声が出せません。みいちゃんの一生懸命さ、心細さ、そして達成感が、子ども達の共感をよびます。子どもの視点で、細かいところまで描きこまれたあたたかい絵も魅力です。

はじめてのふゆ

ロブ・ルイス 作
ふなとよしこ 訳



ほるぷ出版 1992年 1300円

仲間達から冬がくる前に食べ物を集めておくように言われたヘンリエッタは、穴を掘り木の実や草の実をいれます。しかし大雨で流されたり、虫に食べられたり。仲間達が手伝ってくれましたが、うれしくてパーティーをひらいて全部食べてしまいます。くたくたで眠ってしまったヘンリエッタが目覚めると…。初めての冬越しにとまどう小さなねずみのヘンリエッタのお話です。